

経営比較分析表（令和元年度決算）

山口県山陽小野田市 厚狭駅南口駐車場

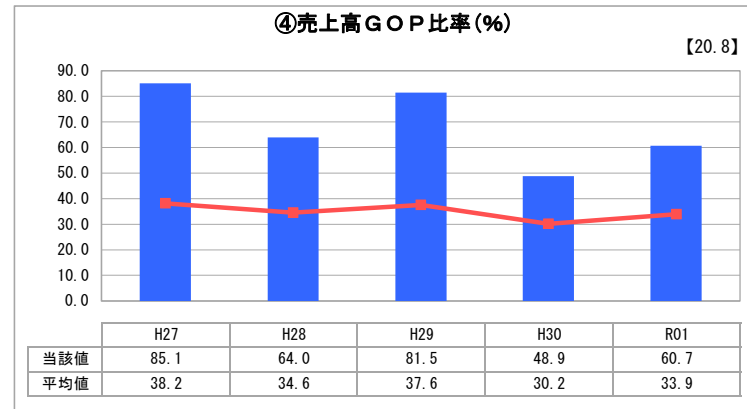
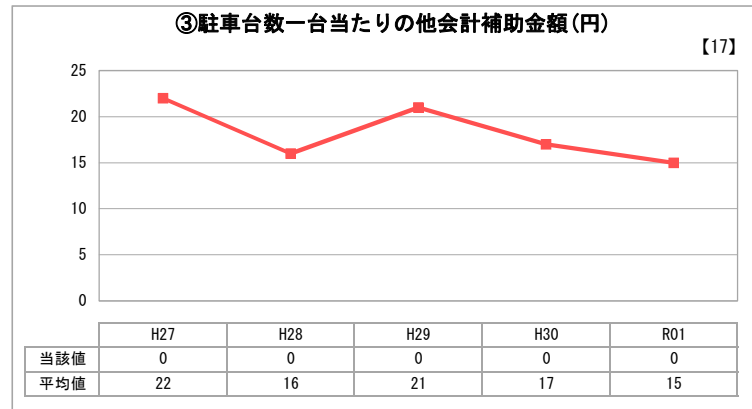
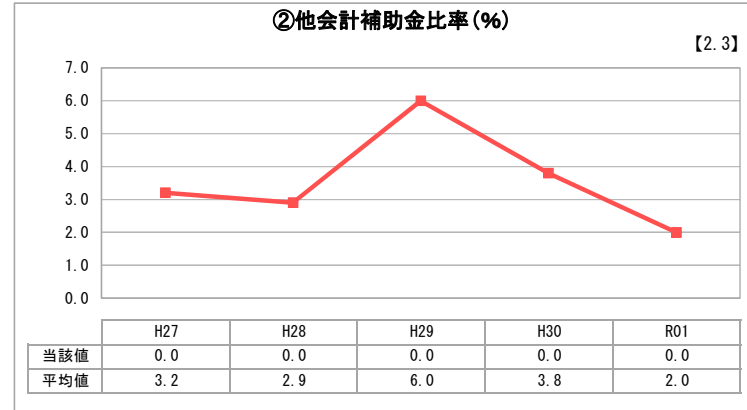
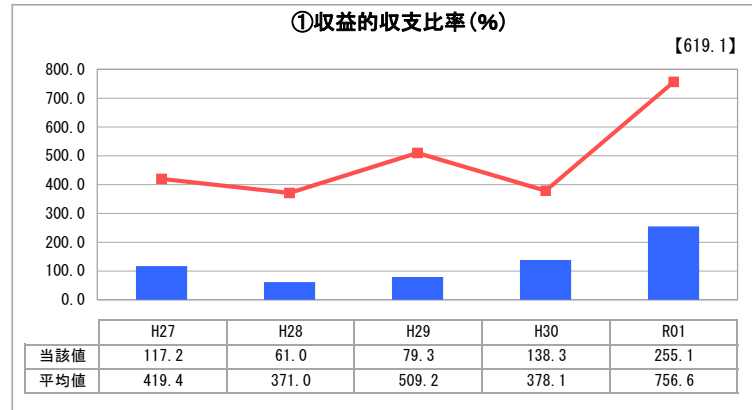
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場 附置義務駐車施設	広場式	20	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,500
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
190	100	導入なし

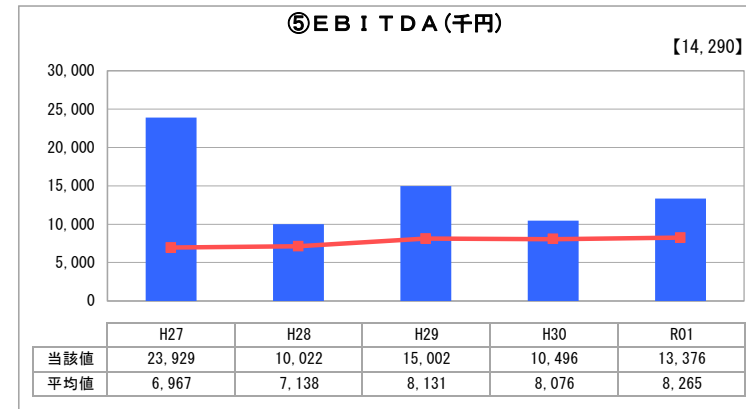
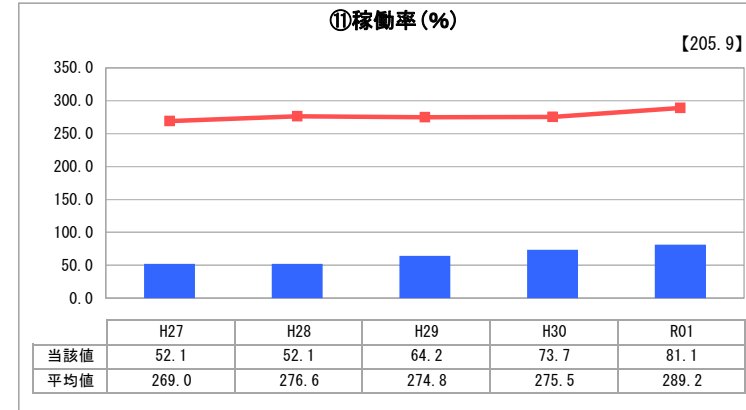
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

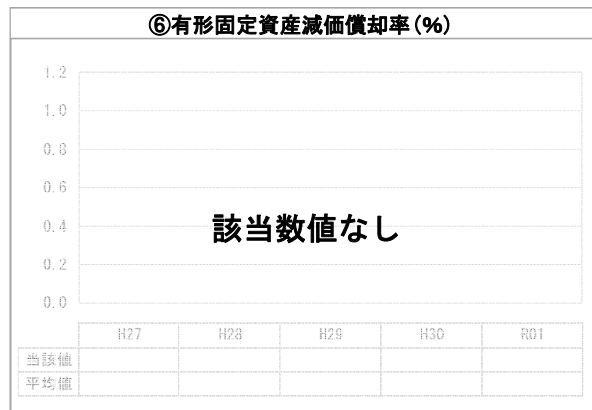
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

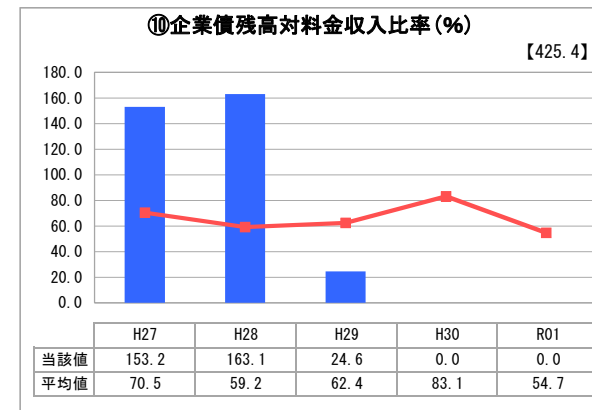


⑦敷地の地価(千円)

135,789

⑧設備投資見込額(千円)

37,820



分析欄

1. 収益等の状況について
 当駐車場は、一般会計からの繰り入れをせず、料金収入で運営しており、経営状態は安定している。「収益的収支比率」については、利用者の利活用向上の観点から、平成28年度に料金の値下げを実施し、周知されたことにより数値が増加し、稼働率も微増ながら増加している。「売上高GOP比率」「EBITDA」については総収益が増加し、総費用（臨時的な工事費等）が減少した為、数値は増加している。令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークや外出自粛などが実施され、駐車場利用者が少なくなっており今後は大幅な収入の減少が想定される。

2. 資産等の状況について
 平成30年度に地方債を完済し、今後利用者が増加し安定した経営を行っていく計画としていたが、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な収入の減少がみられる為、駐車場施設の更新投資の計画を見直し、今後の利用動向を踏まえた計画的な施設整備に努める。

3. 利用の状況について
 当施設は、新幹線利用者の駐車が主であるため、比較的長時間の利用となる傾向があり、回転率が上がらないため、稼働率を上げていく取組にも限界があるが、その分限られた料金収入で過大な投資を行わないよう、施設整備は計画的に実施している。「稼働率」について平成28年度に駐車料金の値下げを行なったことにより、その周知後は、駐車場利用者が増え、前年度よりも高い水準で推移している。

全体総括
 平成30年度に地方債を完済し、稼働率も増加し比較的安定した経営を保てると想定していたが、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な収入の減少がみられる。令和3年度以降に予定していた未舗装部分の整備については、数年は利用動向を観察し、実施を検討していく。今後想定される経年劣化による施設改修についても、計画的に実施する予定である。